

## 2025年 新年のご挨拶

じゃおクラブ 代表 大澤 輝之

じゃおクラブ会員の皆様、新年に当たり恒例のご挨拶を申し上げます。

明けましておめでとうございます。本年も活発な活動をよろしくお願い致します。

昨年は、元日に能登半島大地震、翌日には羽田空港での航空機衝突炎上事故と、騒然たる新年を迎えました。

能登半島においては、夏になって、地震からの復旧途上の被災地に大雨による災害の追い打ちがありました。被災者の方々へ心よりお見舞いを申し上げます。災害は他人事ではなく、いつ自分たちが被災者になるかも知れず、日頃の備えがいかに大切かを痛感させられました。皆様におかれましても、この機会に防災対応や、非常食の備蓄などを改めて見直された方がいらっしゃるかと推察致します。

羽田の事故では、残念ながら海上保安庁の職員の方々の犠牲がありました。しかし、日航機側は大型機全焼という大事故にも関わらず、乗客・乗員全員が無事生還するという、航空機事故の歴史においても稀な朗報をもたらしました。乗員による日頃の訓練の繰り返しが「実」を生んだと思われられました。私の周辺でも、自治会の防災訓練において、参加者が普段より真剣に取り組んでいるようで、いざという時の「実」が期待できると思えました。

昨年は国政において自公政権が少数与党に転落しました。その後は、物事を決めるにも各党の主張が入り乱れ、更に財政的な裏付けのないパフォーマンス的な提案も飛び出し、むしろ国民の見えないところで方向が決まるのではないかと危惧するのは、私だけでしょうか？「103万円の壁」をはじめとする議論の中では、我々シニアから年金生活者に恩恵が及ぶような施策がほとんど見られないのも、「忘れないで下さいね」と言いたくなります。

今年、アメリカではトランプ大統領が再登場します。日本の世論調査でも、同氏がどう出てくるのか

何となく不安な気持ちをもって息をひそめている方が大半のようです。大きな権限を持ったリーダーが物事を一気に決めるのと、すったもんだの末に方向が決まるのと、どちらが良いのか判断が難しいところです。

昨年の大谷翔平君のような、全国民が喜ぶような明るい出来事が、一つでも多くなることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



写真は2024年11月14日、第30回「ヴィサン」《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバルにて歌う大澤代表。

(左から3人目) この日、じゃおグリークラブは「エフォル賞」を受賞した。「エフォル賞」受賞は5回目。

## 事務局だより

### 1. 12月1日現在会員数

湘南	県央	ベイサイド	多摩・田園	計
41	30	32	32	135名 (Eグループ会員：120名)

### 2. 次回予定

- 運営委員会 開催日時：2025年1月19日（日）10:00～12:00（オンライン）  
議長：高橋委員、書記：竹内委員
- HP サークル 開催日時：2025年1月19日（日）15:00～17:00（オンライン）  
HP サークルの会議への参加を募集します。参加ご希望の方は開催1週間前までに多摩・田園の竹内まで、お申し出ください。（[junichi.jan17@jcom.home.ne.jp](mailto:junichi.jan17@jcom.home.ne.jp) 090-6011-8116）

### 行事予定表（スケジュール）

1. 今月よりホームページには、これまでの行事予定表と「カレンダー形式の予定表（サークルスクエア連動）」の両方を掲載しています。
2. これまでの行事予定表は3月末をもってホームページへの掲載を終了する予定です。
3. 4月以降は、パソコンまたはスマホを使って、サークルスクエアの予定表（スケジュール）をご覧になるか、今月からホームページへの掲載を始めた「カレンダー形式の予定表（サークルスクエア連動）」をご利用ください。
4. 「カレンダー形式の予定表（サークルスクエア連動）」は pdf 形式です。印刷物が必要な会員、サークルスクエアのメンバー登録ができていない会員には地域じゃおからメールまたは郵送にて送付する予定です。
5. 新たに「行事・活動の概要」をホームページに掲載しました。地域ごとの「行事・活動名」「開催頻度・曜日」「場所・会場」「問い合わせ先」「備考・注意など」を一覧でご覧になれます。

### 議事録・資料

1. 運営委員会議事録や各種資料を、ホームページだけでなくサークルスクエアにも掲載しました。
2. 近年、ウェブの検索結果に pdf ファイルが表示されるようになりました。pdf 形式の文書を一般の方々にも見てもらいたい場合には便利ですが、外部に秘密にしたい内容が知られてしまうリスクがあります。一つひとつの pdf ファイルにパスワード保護をかければ防げますが、使いにくくなります。検討の結果、会員以外は見ることができないサークルスクエアを使うことにしました。
3. 対象は以下の通りです。
  - ① 運営委員会議事録及び付属資料（2024年度分は掲載済み、それ以前は今後掲載予定）
  - ② 総会議案、議事録及び付属資料、関連資料（第33回分は掲載済み、それ以前は今後掲載予定）
  - ③ 個人情報保護規程（掲載済み）
  - ④ 会則と個人情報保護方針（掲載済み、※ 元々公開している情報です）
  - ⑤ じゃおクラブの歩み（歴史年表）、会員数の推移（掲載済み）
  - ⑥ 会員アンケート（2021年）の報告（掲載済み）
4. サークルスクエアへの掲載はこうした文書の秘密を保つ目的です。文書の移動が終わった後は、時期を見てホームページから削除し、サークルスクエアに一本化する予定です。

## 「カレンダー形式の予定表（サークルスクエア連動）」のサンプル

ご参考として「カレンダー形式の予定表（サークルスクエア連動）」のサンプルを掲載します。

2024年12月25日出力

2025年 1月							2025年 2月						
2025年 1月							2025年 2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
19	20	21	22	23	24	25	22	23	24	25	26	27	28
26	27	28	29	30	31		29						
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
12月29日	30日	31日	25年1月1日	2日	3日	4日							
5日	6日 9:00 T)健康テニス 飯田(成瀬クリーンセンター) 12:30 S)JAVIC定例会 大出(銀座アスター-豚沢資館)	7日 10:30 T)グラフィアーズ撮影会 竹内(洪福寺松原商店街)	8日 10:00 S)じゃお農園 小坂(永田農園)	9日 16:00 B)世話人会(野毛地区センター)	10日 10:00 T)定例会 浅野(町田市民フォーラム) 11:45 T)ランチ&カラオケ 石井(カラオケマック町田2号店)	11日							
12日 13:00 S)新年交流会 松垣(個室居酒屋 ほろ酔い)	13日 9:30 K)世話人会 大場(幸)(海老名市総合福祉会館第2会議室)	14日 13:00 T)健康テニス 飯田(成瀬クリーンセンター) 14:00 T)グラフィアーズ品評会 竹内(オンライン開催)	15日 13:00 K)上河内ファーム 小林(海老名上河内農園) 13:00 T)健康テニス 飯田(成瀬クリーンセンター)	16日 9:30 K)ピンボッククラブ 鈴木(寿)(海老名市国分コッセ) 10:00 T)大人の遊び場定例会 高橋(町田市本町田3140) 14:00 B)カラオケ 幸川 14:00 S)グリークラブ 柏瀬(晴)	17日	18日 10:00 S)じゃお農園 小坂(永田農園)							
19日 10:00 運営委員会 増子 15:00 HPサークル 竹内(オンライン開催)	20日 9:00 T)健康テニス 飯田(成瀬クリーンセンター) 9:30 K)新年そば打ち 福山(海老名市 国分コッセ 海) 13:00 S)西木会 定例会大場(藤沢市役所第4会議室)	21日 17:00 K)新年会 大場(幸)(葵屋-Aoiya-海老名西口店)	22日 9:00 T)健康テニス 飯田(成瀬クリーンセンター)	23日	24日	25日 10:00 S)じゃお農園 小坂(永田農園)							
26日	27日 9:00 T)健康テニス 飯田(成瀬クリーンセンター) 12:00 ベイサイド新年会(中華街福高園新館)	28日	29日	30日 14:00 S)グリークラブ 柏瀬	31日	2月1日							

凡例：S)湘南、K)県央、B)ベイサイド、T)多摩・田園、本部は無印

1

じゃおクラブ

個々の行事・活動は以下のルールで記されています。1月6日の健康テニスを例に説明します。

9:00 T) 健康テニス 飯田 (成瀬クリーンセンター)
①      ②      ③      ④      ⑤

- ① 行事・活動の開始時間
- ② 地域じゃおを示す記号 S)湘南、K)県央、B)ベイサイド、T)多摩・田園 無印は本部
- ③ 行事・活動名
- ④ 活動リーダー（または参加したい場合の連絡先）
- ⑤ 行事が行われる会場名

※ ご質問は、各地域のHPサークルメンバーまたは運営委員の竹内までお気軽にお願いします。

## 会員だより

### 70代最後、そして80代へ

多摩・田園 小林 輝彦

辰年も残すところ数えるほどになりました。散々お断りしているのに、自分自身が何をやっているのかと思うほどに時の流れが異常に速いと感じております。

ここ数年は、近所に在る高齢者支援センターのサポーターに参加しておりまして、高齢者向けの行事開催のサポートをしておりましたが、その活動の中で高齢者を見守るボランティアを社会福祉協議会の参加団体として“からくりいどう”という名称でこの6月から本格的に活動を始める事が出来ました。対象は私の居住している大体5キロ圏内の体の不自由な高齢者の方々です。

思っていた以上に、お困りの方々がいらっしゃっていてあと数年は見守る立場で活動していきたいと思っております。そのためにも以前にも増して健康に気をつけたいと思っております。しかし、これも歳と同じで勝手に向こうからやって来ますからどうなるかわかりませんが、人生最後は趣味とボランティアとっていて、趣味の方は、当じゃおクラブ、そして以前からやっている木工の“町田系のこの会”、“彫刻の会”とそこそこでしたが、ボランティアの方はこれならと思う気に入ったものに中々出会わず、ようやく真剣に頑張れそうなものに出会ったようです。

エリアこそ違え、じゃおクラブの玉木さんが数年前から成瀬の方で“成瀬お助け隊”として同様な活動を始めておりまして、大変良いお手本となりいろいろ手応えを感じるようになりました。

残念でならないのは私自身も見守る立場から見守られる立場にいずれなりますが、少しでも先に延ばせるように頑張って走り抜きたいと思っております。

会員の皆さまも、体に気をつけて、お過ごしください。

#### 「からくりいどう」とは？

「からくりいどう」は町田市北西部で、高齢者を対象にボランティアで送迎サービスを行っています。高齢者の中には、病院通いや、日々の買い物など、ちょっとした外出に苦勞される方がおられます。こうした方は、自宅が坂の上にある、目的地まで歩いて往復できる体力がない、怪我や病気で歩く力が衰えた、免許証を返納したなど、様々な理由で外出もままなりません。都心部では公共交通機関が発達していますが、町田市のような郊外、しかも丘陵地帯で坂が多いとなると、高齢化の進行と共に、このような問題が顕在化してきました。

「からくりいどう」ではこうした方々を対象に、講習を受けたメンバーが、送迎ボランティアを行っており、利用者の方々に喜ばれています。(じゃおニュース編集担当記)



## 身なりと個性

県央 小林 嘉

しばらく以前平塚市の県立高校で身なりで入試の合否を決めたとして、その学校の校長が更迭された事件がありました。入試時に不相当とされたのは、次の様でした。眉を剃っている、髪を染めている、爪が長い、胸ボタンをはずしている、化粧をしている、ズボンをひきずっている、スカートが短い、手袋をしたまま書類を受け取る、態度が悪いなどでした。つまり学力テストの結果の他に「身なり」や「身だしなみ」というそれぞれの受験者の「個人的な好みの表現」も評価の対象として合否を決定したのでした。当時この高校は、校内に飲食物が散乱したり、喫煙、いじめ、盗難などの事件が絶えない「問題校」で、入った生徒の多数が中退してしまう学校でした。身なりで合否を決めた事で更迭された校長は、教頭時から「真面目な生徒が下を向いて歩いてはいけない」と考えて、教職員や保護者、地域などと力を合わせて校風改善に取り組んでいました。では身なりによって合否を判定したことを教育委員会や文科省など行政の大方の見解は「公表された合否基準は、身なりについて言及しておらず、校長の判定は公正ではなかった。」ということでした。また態度が悪いなどの「主観的評価は合否基準にすべきではない」というのであれば、読解力のテストなどはできなくなってしまいます。この問題のポイントは「人の身なりはその人の好みや意志を表している」ところにあります。

私たちは、しばしば身なりや身だしなみ、立ち居振る舞いなどで人を判断します。しかしその判断を本人に伝えることはまずありません。何も告げずに身なりで合否を決定した校長のように心のうちで、尊敬できて付き合いに足る人物かどうかを決めてしまいます。なぜなら身なりも立ち居振る舞いも全てはその人のこれまでの生活と現在のものの考え方に寄って生まれているからです。判断を本人に伝えないのは、彼がどのような思想信条を身につけて生きてきたのか。どのように生きていこうとしているのか。それは他者が理解できないことだから、それを受け入れるか受け入れないかだけの問題です。しかし人を育てようとする

教育者は「教育とは生徒が将来仕合わせになれる条件を整えてやる事だから。」将来の仕合わせのために今問題があればそれを正しく導く、それが人を育て教育するということです。身なりや身だしなみのあり方は個性の表現です。又身だしなみを変える事で個性も変えることもできるはずです。髪を染めるのをやめ、爪を切り、衣服を整え、姿勢を正して歩くそれだけで仕合わせへの第一歩を踏み出すことができるなら簡単なことです。では校長が彼等一人ひとりに次の様に訊ねていたら？「君の身なりはこの学校の校風では受け入れられない。改める気はありますか」と「改めます」と答える者「個人の勝手だ」と突っぱねる者、合否はこの段階で決定されてもよかったのでは？



## あとのまつり

県央 坂井 靖夫

10月中旬にゴムボート釣りに行った。海の悪天が続いたので約1ヶ月ぶりの釣行である。(風4m/s以下、波0.5m以下がゴムボート釣りの自分の条件、それ以外は出船を控える)。

毎度のひらつかタマ三郎漁港を8時頃に出航。波は比較的穏やか。3時間ほどエサ釣りを続けていると突然ググッと竿が引かれた。キター、この引きは大物だ。テンション最高。グイグイ引っ張られ竿は90度を超え曲がりに曲がる。竿が折れないよう、また根に潜られないようドラグ(一種のブレーキ)を調整する。魚とのやりとりは5分もあったか、竿がピュンと元に戻り張力なくなる。一気に緊張感が解けた。リールでライン(釣り糸のこと)を巻き戻す。テンビンごとない。ライン切れた。最初の思いはロスト金額。テンビン、マキエかご、錘・等で〇千円ロスト。悔やんでもロストはロスト、後の祭りだ。

前回釣行と同様のライン切れた。帰宅後に反省と対策。考えられる原因はラインが細い、ラインと天秤の結びが弱い、ラインの交換時期かの3点。3点全部に対応することとした。ラインはPE1.5号から2号へ太くする(購入)、結びはダブルクリンチに変える。あまり日をおかず対応した。尚水深100m以上の所ではPE4号を使っている。仕事でもこれ位原因と対策をやればもう少し出世したかも。

この日はライン切れ前に釣ったサバとシイラがあり、漁港管理人さんには釣果マアママでしたと言えた。(管理人さんは必ず釣果を確認しに来られる)下手やったと言えない小心者の見栄です。また、消えた大物はでかいトラフグかイナダか、解らないことが下手の極み。

しかし釣りは下手でもゴムボートには使いやすいようにする、又は装備を自作する楽しみがあります。男の子の世界です。装備を船に付けることを艀装(ギソウ)といいます。ユーチューブには自慢の艀装が数多く出ている。島忠で雑貨、部材等利用できるものはないか時々チェックして艀装修正、工夫をしている。自信のアイデアはボート床に風呂マットの利用である。大きさ、丈夫さ、設置時間全て最良。エサにも下手なりの拘りがある。オキアミは1晩砂糖漬けにしてさらに味の素をたっぷりかけて使っている。消えた大物はこのオキアミを食った。

女房、息子は2~3度釣行に同船したが、最近は全く無関心。庭で時々する艀装の工夫、アイデアを褒めてほしいがこれまた興味さず。家族の共感を得るには少々難しいが、体力の続く限り、平塚沖でのボート釣りを続けていきたい。



写真左：マイゴムボート(乱雑に見えるが最善の配置)



写真右：今回の釣果

## 年末年始に寄せて

県央 佐賀県小城（おぎ）市小城町在住 前田康行

現在佐賀県に住んでおります。佐賀県を含め福岡県、長崎県など北部九州は日本海側に面しているため冬はだいたい毎日どよ～んとした天気です。晴れと言っても時折雲間から太陽が顔をのぞかせる程度で、関東のように雲一つない快晴というのはほとんどありません。雪はたいして降りませんし、気温が氷点下になることもあまりないんですが、なんせお日様がそれほど当たりませんので、九州とはいっても、冬は関東よりも寒いんじゃないかと思えます。先日 11 月末に湘南農園に参加させていただきました。快晴の青空の下で農作業というのは爽快でした。改めて関東の冬がうらやましい！

そんな寒い冬の暖房と言え、昔は掘りごたつと火鉢。実家にはありませんでしたが、昔は九州でも山間地には囲炉裏があったようです。掘りごたつは練炭の入った七輪、火鉢は炭、といっても今の若い人、少なくとも 20 代には練炭とか火鉢とかが通じないんですよ、説明するのも大変。火鉢の炭の上に金網を乗せて餅を焼くのは子供の役目で、餅がぶーっと膨れるのを見るのは楽しかったなあ。

お餅といえば、お正月用の餅つきは 12 月 28 日と決まって、なんで 28 日なのか母親に聞くと、29 日は二重に 9=苦だからで、30、31 日は大掃除やらおせちの準備やらで忙しいからだって言っていました。また、しめ飾りなどを飾るのは大晦日だと一夜限りだからよくないとかね。毎年 12 月 28 日に母方の祖母の家に母の姉弟家族が全員集まって、杵と臼を使って文字通りべったんべったんの餅つき。叔父さんたちが搗いて、叔母さんたちが丸めて、それは見事な連係プレーでした。九州では餅と言えは丸餅です。幼いころのこの餅つきの日って、従妹たちがみんな集まって田圃に積んである稲子積み（稲わらを高く積み上げたもの）の中に入って遊んだりして楽しい一日でした。今思い返してみても叔父さんたちも叔母さんたちもみんな笑顔があふれてて楽しそうだったなあ。貧しい農家のささやかな楽しみの行事だったんでしょうね。身内総出と言え、田植えや稲刈りもそうでした。母方の姉弟はほとんどが農家だったので、それぞれの家の田圃ごとに身内が集まって総出で農作業。それが、そうですねえ私が中学生のころだから昭和 40 年代でしょうか、田植えも稲刈りもなにかもが機械化、省力化されはじめて、身内みんなが集まる農作業もなくなるとともに、餅もそれぞれの家で調達するという時代になったので、あの楽しかった年末恒例の餅つきもなくなりました。今思い返してみると、昭和のまだ貧しかったころの農村の風景が目に見えます。身内がみんな集まって助け合いながらの共同作業、いい時代だったと思えます。

年が明けると、またまた祖母の家に親戚が集まり男衆は一日酒盛り。子供たちはまたまた従妹同士田圃で走り回ったり凧揚げしたり。私の家は商売をしていて、元旦の一日以外は店を開けていたので、お正月だからといって家族みんなでどこかに出かけるなんてことはなく、静かなお正月でした。元旦の朝、家族全員座敷に集まり、父親に向かって新年の挨拶をするぐらいでしたか。家父長制の典型ですかね。お雑煮は、例の丸餅を焼かずにそのまま入れてました。関東では、お雑煮のお餅は焼いてから入れるんですよ。味付けはいりこの出汁と塩。おすましみたいな感じで醤油は使ってなかったような。具材は、鶏肉、紅白の蒲鉾、ホウレンソウなんかでしたか。ただ、お雑煮の作り方は様々なようで、佐賀県でも地域によっては小豆を入れるところがあるそうです。それからかなりの時が過ぎ、私の両親も、両親の姉弟も皆亡くなりました。年末年始の思い出もはるか彼方に消えていきそうです。

とまあ、思いつくままに、年末年始の風景を描いてみましたが、佐賀県特有の事柄があるかどうかちょっと怪しいなあ。ここまで書いてみて全国どこもあんまりかわらないんじゃないかなあと思っておりますがいかがでしょうか。

### 四木会～京都一泊吟行会

四木会は11月18日～19日にかけて紅葉の京都府立植物園、京都御苑を訪ねる一泊吟行会を開催した。一泊吟行会は四木会発足10周年を記念して始めたもので、福島県「白河の関」を皮切りに金沢「兼六園」を訪ねる吟行会までの2019年まで（10年連続目前）行われたが、2020年新型コロナウイルス感染症の発生によりやむなく中止となった。今回はそれ以来5年ぶりの一泊吟行会である。

久しぶりの吟行会ということもあり、当日は小田原10時7分発とやや遅めのゆったりした出発である。吟行地の京都府立植物園に到着したのが13時少し前であった。早速簡単な打ち合わせの後自由行動による吟行開始となった。

今年の秋は暖かい日が続き、京都の紅葉も1週間から10日程度遅れたらしく市内大通りの街路樹はじめ、府立植物園や京都御苑も僅かに色付き始めたばかりだ。例年なら池を囲むようにイロハモミジ



や銀杏が色鮮やかに紅葉するとのことだったが、観賞できなかったのは残念だった。散策が始まって間もなくパラパラと小雨が降る。この時期、ここは時雨が有名で北山時雨と名がっている。時雨はご存じのように天気雨で、傘をさすほどではなく風情もあり絶好の俳句日和となった。

吟行は忙しい、15時前に京都御苑へ移動する。あいにく月曜日は京都御所には入れないが、御所の正門となる建礼門や幕末動乱「禁門の変」の舞台となった蛤御門などの見学は自由であり句作にも熱が入る。歴史好きの皆さん弾丸痕を触るなどし、当時の事変に思いを巡らし暫し大いに語りあった。

外国からの若い女性観光客がスマホをかざして撮っているのは10月桜、「出水の小川」沿いにひっそりと咲いている。御苑は広くすべて見ることはできない、句材は多いがなかなか句がまとまらない、秋の日は短く暮れるのが早い、心残りであるがほどほどで切り上げる。

程なく四条烏丸駅近くのホテルにチェックイン。夕食はホテルから徒歩数分の新京極の居酒屋である。早速鮎を肴に酒を酌み交わしながらの直会（反省会）となる。隣の外国人グループも盛り上がっているようだ。

一夜明けホテルに近い京都経済センターで恒例の句会を行う。あとは何時も通り選句、披講、廣崎主宰より特選3句、入選5句の選句とご講評を頂く。句会は11時過ぎに終わった。

帰りまでには時間もあることから、四条烏丸からあまり遠くない八坂神社まで足をのびし参拝。ご多分にもれず神社までの通りは観光客で賑い、韓国語や中国語がよく聞こえてくる。流石京都、着物姿の若い女性や外国人があふれかえるようだった。

紅葉は期待外れではあったが、まずまずの天気で2日間事故もなく無事終えることが出来てホットしている。

(湘南 大場 繁好 記・写真)

## じゃおグリーンクラブ こんな楽しみ方も😊 有志一泊合宿(?)



じゃおグリーンクラブは、毎年の「ヴィサン」に出演することを目標に練習しています。コロナ明けの昨年のヴィサン後の練習日に有志で一泊の忘年懇親会（熱海）を行いました。今年もお互いの旧年の慰労と新しい歌への元気付けの為に、有志 6 人による一泊懇親会を行うことになりました。コーラスの練習後に行ける範囲となると、熱海・伊東・箱根近辺になります。去年は熱海で夜朝食ともホテルのバイキングでした。じゃあ！今年は伊東！という

ことになりました。伊東と言えば魚となり、ホテルで食べるのは止めて地元の魚屋が経営している居酒屋を選びました。メニューには「うずわのタタキ」・「火星人」・「ちんちん揚げ」など想像がつかない食べ物があります。練習後に喉を潤す間もなく電車に乗ったために、まずはビールで乾杯🍷！続いて「うずわのタタキ」を注文します。「うずわ」とは、ソウダカツオ（宗田鯉）のことで伊豆地方の方言だそうです。ソウダカツオは足が速いので生で食べることが出来る地域は限られるそうです。その一つが伊東だとか！ 殆どは鯉節になるそうです。ワサビではなく、青唐辛子を刻んだ物と醤油を付けて食べます。「余り青唐辛子を付けると辛いよ！」と名札に「ボ」と書いた店員が言います。でも適度な辛さでまあ美味しいか？

次は「火星人（写真右）」です。「アッ！ 火星人に似ている！」、「火星人を見たことがあるの？」なんて会話が続きます。ライターが付いているので何に使うの？ また「ボ」さんが教えてくれます。「ライターの火で少し曲がるまで焼いて下さい」。これは美味しい！



「火星人」とはホタルイカの干物だそうです。見たことは無いけど確かに火星人に似ているようだ！色々と食べて飲んでホテルへ向かいます。温泉に入った後はカラオケルームへ！ さすがはコーラスグループ！ デュエットも上手い！

朝風呂にも入ってチェックアウト。朝食もホテルでは食べないで近くのファミリーレストランで食べることにしました。

天気も良さそうだから、大室山からは富士山と駿河湾が見えることを期待して、伊東から大室山へ向かうバスに乗り込んだら「アレッ！ 大室山のロープウェイが運休中と書いてあったよ！」、「まあ行って見よう！」。40分余り伊豆半島のバス旅行が続きます。

ヤッパリ運休中、今日までだって！ 「仕方がないから城ヶ崎海岸へ行って見よう！」と言って時刻表を見るとバスは45分後です。近くを散策しながら富士山の姿を探すと木々の間から富士山（写真右）が見えたので取り敢えずはよしとするか！と慰めるしかありません。城ヶ崎海岸の釣り橋は見応えがありますが、残念ながら写真で表すのは難しい！腹も減ってきた、幸いなことにタクシーが止まっているのでタクシーで伊豆急・城ヶ崎海岸駅まで行くことにしました。タクシーの運転手に良い食堂が在りますかと聞いたら、伊豆よりも熱海の方が良いよとの返事が返って来ました。それではと去年も遅い昼飯を食べた熱海の居酒屋まで行くことになりました。熱海での反省会を終えて、鯨の干物・金目鯛の干物等を土産に買って無事に帰路につきました。



さて、来年は、何処に行こうか？ じゃおグリーンクラブは、こんな楽しみ方もしています！😊

（じゃお湘南 新藤 正則 記・写真 亀丸 広司、多摩・田園 片山 隆行）

## 農園日記—じゃお農園の納会

2024年12月21日(土)、一年間の締めくくりとして日頃お世話になっている永田農園の皆さんを招待して納会を開催しました。じゃおクラブが18名、永田農園から約20名の方が参加されました。当日の飲食のメインメニューはジンギスカン料理と豚汁でした。

18名の仲間が9時半に集合し、会場の設営、釜戸火起こし、野菜の洗浄、下ごしらえ、調理を手分けして行いました。釜戸はジンギスカン用に2台、豚汁用に2台を用意し、それと鉄板2台と大釜2台をすべて永田農園からお借りしました。

ジンギスカン料理の材料は、ラム肉、キャベツ、モヤシ、タマネギ、ニンジンで、キャベツはじゃお農園産です。味付けをして鉄板で炒めました。豚汁の材料には豚小間切れ肉、里芋、大根、葱、白菜、牛蒡、舞茸、シメジ、シイタケ、玉うどんを使い、里芋、大根、葱はじゃお農園から調達しました。

今年のじゃおの里芋、大根、葱は出来がよく、特に里芋は大きめの外に出しても恥ずかしくないものが採れました。普段なら白菜もじゃお産を使うのですが、今年は虫にやられ全滅でしたのでスーパーから購入しました。

調理は予定通り12時前には完了し、身内だけで乾杯をし、食べ始める頃に永田農園の皆さんが三々五々会場に来られ、プラどんぶりに豚汁をよそって食事と懇談が始まりました。KUさんの豚汁の「味噌」と「だし」の調合もよく、野菜も上手に煮えたので、お代わりをする人が多かったと思います。その他に釜戸の火を使って焼き芋を作り提供しました。焼き芋は生芋にアルミホイールを巻いて焼きました。ホカホカとしてとても旨かったです。永田社長から後継ぎ?の息子さんと新入社員の紹介がありました。楽しい懇談の時間はあっという間に過ぎて永田農園の皆さんは、職場に戻られました。

今日の納会には永田社長から、缶ビールとノンアル缶各1ダースの寄付を頂きました。その他に県央のOさんから1000円、湘南のHAさんからお酒を、口腔がん手術でリハビリ中のKOさんがご夫婦で来られてお酒とつまみ菓子を頂きました。その他、永田農園のアルバイトのおばさんから手作りのたくわんを沢山頂きました。お心使いに感謝いたします。

納会の食事が終わり、納会で使った道具類を元の場所に戻し、ごみ整理、会場の清掃が終わったのが午後2時でした。最後はベイのAさんが音頭を取って三々七拍子で締めました。

今年は有難うございました。来年もよろしくお願ひします。

(湘南 島村 忠男 記・古岡 實 写真)



## じゃお多摩・田園

### 蔦重も歩いた街、大伝馬町本町通りを歩く～仲間と街歩き～

12月も末になり、NHKでは2025年1月から始まる大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺（つたじゅうえいがのゆめばなし）～」の紹介が始まりました。ドラマは蔦重＝蔦屋重三郎（つたやじゅうざぶろう）が主人公で、横浜流星さん主演です。蔦屋重三郎は、浮世絵師の喜多川歌麿や葛飾北斎を見出した江戸一流の版元で、お店「耕書堂（こうしょどう）」は今の伝馬町にありました。

11月27日に開催した、多摩・田園「仲間と街歩き」は大河ドラマを先取り。蔦屋重三郎にまつわる地と、江戸時代の歴史、経済、文化に関連する地を歩きました。今回で3回目となる中央区文化財サポーター協会によるガイドツアーです。



今回は定員を上回る21名の申し込みをいただきました。残念ながら直前の体調不良などで4人の欠席があり、17人での実施となりましたが、多摩・田園だけでなく、県央、ベイサイド、湘南からも参加がありました。地域を超える参加は大変うれしいことです。この人数になると、ひとかたまりでの移動は難しいので、2班に分かれて歩きました。



東京は空襲があったため、歴史的建造物は、ほとんど残っていません。しかし、探せば、道路の向きや高低差、地形などに江戸時代の痕跡を見つけ出すことができます。今ではビル街になってしまい、右を見ても、左を見てもコンクリートの街です。こんな場所だからこそ、ガイドツアーが力を発揮します。絵図や古地図、資料写真を駆使した説明や、時に江戸時代のエピソードを挟みながらの説明は、分かりやすく、まるで江戸時代のにぎわいが聴こえてくるようでした。

街歩きは、伝馬町の牢屋敷跡から始まり、馬込勘解由（まごめかげゆ）屋敷跡（江戸時代の道中伝馬役）⇒宝田恵比寿神社（べったら市で有名）⇒小津史料館（豊富な史料が語る「紙商」の足跡）⇒伊場仙浮世絵ミュージアム（浮世絵から現代アートまで多彩な企画）⇒梶森（すぎのもり）神社（江戸時代の「富くじ」で有名）⇒大丸呉服店跡⇒大門（おおもん）通り（元吉原は大伝馬町にあった）⇒蔦屋重三郎「耕書堂」跡と巡りました。

2024年の「仲間と街歩き」は今回で終了です。次回は2025年春に再開予定です。ご期待ください。

写真上：十思（じっし）公園にて（伝馬町牢屋敷はこの付近にあった。吉田松陰終焉の地でもある）

写真下：小津史料館にて（手すき和紙を扱う老舗の上問屋。千両箱や紙取引の史料を展示している）

（多摩・田園 竹内 純一 記・写真）

## 彩り豊かな音を楽しむ〜クラシック・コンサート鑑賞会

12月8日(日)、この日は「さがみはらフィルハーモニー管弦楽団」の第49回定期演奏会へ行ってきました。今回は総勢12名の参加でした。

いつも東芝フィルハーモニー管弦楽団の方からチケットをお世話頂いてきました。10月末にメールで、この日の演奏会の案内があり、そこには「さがみはらフィルの団員になりました」とありました。以前から「良い音を聞かせる楽団です」と聞いていたので、早速、じゃおクラブ内で案内しました

今回は会場が橋本駅隣接の「杜のホールはしもと」です。町田からは近くて便利ですが、535席しかない小ホールです。過去の実績を参考に、急いで8席を確保しましたが、すぐに埋まってしまい、4席を後から追加しました。11月の中旬には完全に売り切れとなる人気ぶりでした。(全員での写真が撮れませんでした。写っていない方々ごめんなさい。)



さがみはらフィルハーモニー管弦楽団は、相模原市を活動拠点とするアマチュアオーケストラです。50名ぐらいの少人数でハイレベルな演奏を目指しています。当日の曲目は、以下の通りでした。

W.A.モーツァルト： 歌劇「ドン・ジョバンニ」序曲 KV.527

J.ハイドン： 交響曲第94番「驚愕」

L.v.ベートーヴェン： 交響曲第6番へ長調「田園」 Op.68

さがみはらフィルハーモニー管弦楽団を聴くのは初めてでしたが、これまでの経験（限られてはいますが）と比べて若い楽団員の方が多かったように感じました。演奏も、弦のアンサンブルが美しく、その中に木管や金管の様々な音色が散りばめられており、キラキラと輝いているような印象を持ちました。パンフレットによれば、指揮の柏木 正信さんは、ミュージカル「オペラ座の怪人」（劇団四季）を指揮された方だそうです。そんなところが、演奏に反映されていたのかもしれませんが。素人の感想なので的外れかもしれませんが、日曜の午後を楽しむことができました。

後日、チケットのお礼のメールに添えて、感想をお伝えしたところ、コンサートミストレスの方から「嬉しい感想ばかりで感激です。こんなにちゃんと聴いていただいていたと思うと次に向けて背筋が伸びる気持ちです。」とのご返事。ありがたく受け取りました。

ところで、コンサート終了後、解散の前にホールのあるミウヰ橋本の6階から、リニア新幹線の工事現場が見えるとの話を聞き、何人かで見に行きました。直径100mはあろうかと思われる丸い堅穴が開いており、周囲の空き地に掘り出された土が袋に詰められて積み上げてありました。普通のビルの工事現場からは想像もつかない巨大な工事現場でした。

(多摩・田園 竹内 純一 記・写真)